

福島工業株式会社

証券コード:6420

FINE!

株主・投資家の皆さまへ

第67期 期末報告書

2017年4月1日～2018年3月31日

**Fukushima** 

フレッシュ・バリューをあなたとともに

# トップメッセージ



企業理念

環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します。

## 第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマに、お客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

## 第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

## 第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

## 第4項 株主・お取引先の幸せ

わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当社第67期(平成30年3月期)の事業活動の概況を、ご報告申し上げます。  
株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **福島 裕**

## ―第67期を振り返って―

当期におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策により企業収益や雇用環境に改善が見られ緩やかな回復基調が続きました。

当企業集団を取り巻く環境においては、外食産業では、深刻な人材不足や人件費並びに食材費の高騰など厳しい状況が続くものの、業界全体の売上では19ヶ月連続で前年を上回りました。流通産業では、建築コストの高騰や人材不足により食品スーパーの新規出店が控えられるなど、厳しい状況が続きました。また一方で、消費者の低価格志向は根強く、ディスカウント業態のニーズが一段と高まったこともあり低価格の食品販売を強化しているドラッグストアの出店が増加いたしました。コンビニエンスストアでは、全店ベースでの売上は前年を上回っているものの、既存店ではマイナス基調にあるなど、業態間の競争がますます激しくなりました。

このような経済環境の中、当企業集団の冷凍冷蔵庫販売では、インバウンド需要を背景に飲食店向けの売上が増加したこと及びラインナップが充実した製氷機の売上が増加したこと並びに大型プラスチックの売上が給食センターやセントラルキッチン、食品工場向けに増加したことなどにより前年比

107.1%となりました。

冷凍冷蔵ショーケース販売では、スーパーやコンビニエンスストアの新規出店が控えられたものの、コンビニエンスストアの統合による改装投資や、食品販売を強化したドラッグストアの新規出店が増加したこと並びに食品スーパー向けのESCO提案の施工物件が増加したことにより前年比104.6%となりました。

以上のことなどから、当連結会計年度の売上高は、前年同期比7.4%の増収、営業利益は3.1%の増益、経常利益は2.8%の増益となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は前年比5.5%の減益となりました。

## ―一次期の見通し―

2020年の東京オリンピック開催を控え、これからますますインフラ建設の需要が本格化することが見込まれ、首都圏での再開発が進むことで日本全体の景気が押し上げられ、景気回復が継続することとされます。また、働き方改革、人手不足への対応のための投資が活発化するものと予想されます。

外食産業や流通産業においても、深刻な人手不足から省エネ・省力化への投資が進む

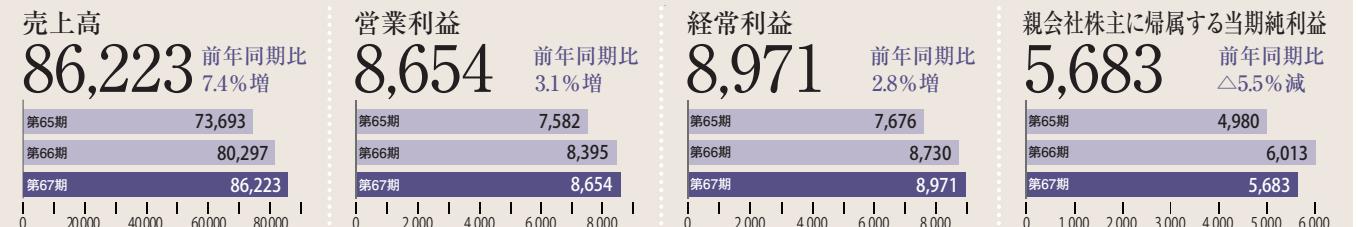
ものの、業態を超えた競争は激しさを増すものと思われます。また、食品の衛生管理プロセスの義務化やフロンガス規制の強化など、食品への安全性や地球環境保護の動きは高まっており、ますます当社の安全安心技術がお客様へお役立ちできるものと考えております。

当企業集団においては、昨年11月にアルミ冷却器を採用し優れた節水性と更なる省エネを実現した新型製氷機を発売いたしました。また、ツイン冷却器と独自の新冷却制御により省エネと店舗営業中の温度上昇を抑えた新型高鮮度ショーケース「Send-You Fresh」を導入したことにより、さらに省エネ提案を実践し、お客様の魅力ある店舗づくりをお手伝いしてまいります。

今後も当社の技術力を更に発展させ、冷凍冷蔵庫や冷凍冷蔵ショーケースといった製品を販売するだけでなく、開発・営業・サービスが一体となりお客様や生活者の皆様へ安心と安全をお届けすることで、社会に貢献できる企業となれるよう、グループ一丸となって精進してまいります。

株主の皆様には今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第67期連結決算 (単位:百万円)



# 特集 1

## 未来志向の 新たな価値と体験を創造する 「東京ミッドタウン日比谷」様に フクシマ製品を多数納品。



東京ミッドタウン日比谷様は、ショップ&レストラン、オフィス、映画館、空中庭園や広場空間が集約された複合施設です。東京・六本木の東京ミッドタウンに続く2つ目の東京ミッドタウン施設で、約60店舗のショップが軒を連ねます。フクシマは、販売店と協働で東京ミッドタウン日比谷様の飲食店の施工をサポート。その導入事例をご紹介します。



### 東京ミッドタウン日比谷

所在地:東京都千代田区有楽町1丁目1-2  
開業日:2018年3月

## 全飲食店の約半数が フクシマ製品をご採用。

### 食の安全性と作業効率を 高める製品を多数の店舗に導入。

東京ミッドタウン日比谷様には、飲食店が約60店舗入っており、その半数の店舗で当社製品をご採用いただきました。イタリアンやアジアン、カフェ、ベーカリーなど8つの店舗が集まる地下1階のフードホール「HIBIYA FOOD HALL」には、全店に当社製品を納品いたしました。HIBIYA FOOD HALLに納品した当社規格製品は、縦型・横型冷凍冷蔵庫、製氷機、

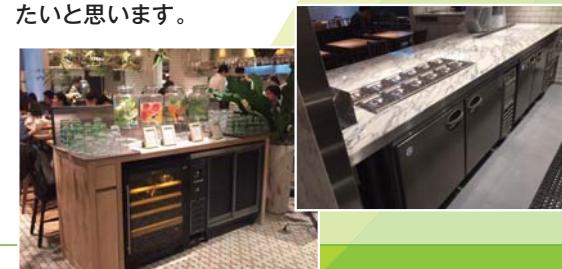


リーチインショーケース、ドウコンディショナー、プラスチックラー、電解次亜水生成装置 (FE) です。また、お客様のご希望に沿ったドリンク用オープンショーケース、ワインセラー、サラダ用トッピングテーブル、ミートボール用トッピングテーブルを製作いたしました。電解次亜水生成装置や、プラスチックラー、ドウコンディショナーなど、食の安全性とスタッフの作業効率を向上させる製品を多数ご採用いただいております。

### ニーズに合わせた製品で お客様の満足度を高めたい。

導入した製品の中には、冷却機能を落とさずに商品の見栄えを良くするデザインにこだわるなど、お客様のご要望に応えるためフクシマの技術を活かした製品を製作。納品後、HIBIYA FOOD HALLの安全衛生責任者様より、「電解次亜水生成装置の導入は、様々な用途で衛生管理ができるので嬉しい。」とお声がけいただきました。本案件では、東京ミッドタウン日比谷様

向けの製品を多数納品しましたので、この経験を活かし「福島工業に頼めば、どんな要望にも応えてくれる。」とお客様に仰っていただけるよう、様々な提案を行い、お客様のニーズに合わせた製品づくりに取り組んで参りたいと思います。



## 特集 2

買う! 食べる! 集まる!  
新しい食の市場

# 「キッチン&マーケット ルクア大阪店」様の 施工をフクシマがサポート。

キッチン&マーケット様は、食物販と飲食を融合させたグローサラント(グロサリー&レストラン)型の新店舗です。JR大阪駅の商業施設・ルクア イーレ(LUCUA 1100)の地下2階にあり、約860坪の広さを誇るルクアフードホールの核店舗として出店されています。今回は、買う・食べる・集まるが楽しめるキッチン&マーケット様の導入事例をご紹介します。



### キッチン&マーケット ルクア大阪店

所在地:大阪府大阪市北区梅田3-1-3 ルクア大阪地下2階  
開業日:2018年4月



お客様のご要望を満たすため工場と連携し、  
より良い店舗づくりをサポート。

売り場面積は、約440坪。  
合計63台のショーケースを納品。

一日の平均客数は7,000~8,000人、連日大勢の来店客で賑わっているキッチン&マーケット様。売場面積は約440坪あり、店内には約350席の飲食スペースも確保されています。通常のスーパーマーケットとは大きく異なり、変化のある動線、対面カウンター、イートイン、レストランコーナーなどを配置。レストランのメニューが物販として売場にも出ており、さらにそれをイートインスペースで喫食することもできます。フクシマは、食品売場と飲食店を合わせた18店に製品を納入。ご採用いただいた製品は全部で63台であり、キッチン&マーケット様向けに高さ2400mmの多段ショーケースの奥行を通常1100mmのところ、奥行900mmにして



納品いたしました。また、青果コーナーにあるサラダバーのショーケースもフクシマ製です。このサラダバーは、1日の野菜の必要量がほぼ摂取できるサラダボウルがワンコイン(500円)で購入できるとあって大変人気があります。サラダバーのショーケースは、規格の平ケースの外装を現地で木製に改造し、内装と一体感を持たせました。



これまでに培った技術を活かし、  
お客様の納得できるカタチに。

本案件では、お客様のご要望を実現するため、営業と工場が連携し無事に納品することができました。納品後、お客様から「良いお店になった、頑張ってくれた。」とお褒めのお言葉をいただきました。キッチン&マーケット様



向けの製品に関しては、以前、百貨店売場で培った技術が活かされたと思います。そして、グローサラント事業の実績ができたことで、今後は売場と厨房が一体となった設備提案をして参ります。

# トピックス~NEWS~

## 新製品 製氷機の新ブランド 「ミラクリア」が登場!

### MIRACLEAR™

「ミラクリア」は、ミラクル(驚き)+クリア(透明な)を掛け合わせた造語で、省エネでクリアなおどろきの氷をつくるという意味。フクシマの新しい製氷機ブランドです。優れた節水性と省電力で、電気代+水道代の年間ランニングコストは従来機に比べて約36%ダウン。さらに、氷が取り出しやすくなり清掃性も向上しました。ホテル、ビアガーデン、洋菓子店、学生食堂などにおすすめです。



FIC-A25KT2

## 新製品 スイング扉 リーチインショーケースが フルモデルチェンジ!

フクシマ独自のDCC方式を採用し、大幅に省エネ。さらにLED照明採用や扉の構造変更などでも省エネ率がアップしました。外装デザインを一新し、さらに全17機種にバリエーションも充実。CVS、リカーショップ、食品小売店舗などにおすすめです。



MRS-120GWSR

## 新製品 パティスリー用対面ショーケース PTRシリーズが新発売!

独自の技術で、洋菓子を新鮮に美味しく保つ定温・高湿を実現。インバーター冷凍機搭載で省エネにも貢献します。また洋菓子を美しく鮮やかに見せるため、高透過ガラスを採用。さらにオリジナル高照度LEDで、洋菓子を綺麗に照らします。



PTR7518

## 展示会 第52回 スーパーマーケットトレードショー 2018に出展しました

2018年2月14日(水)~16日(金) 幕張メッセ

スーパーマーケットを中心とした流通業界や小売業界に最新情報を発信する商談展示会です。今年は近日発売予定のCLAIR Send-you ショーケースを展示しさらに食材を使った料理を提供できることで注目されている「グローサラント」の提案や、コンビニエンスストアといった小型店舗向けの内蔵型ショーケースを展示いたしました。



## 展示会 第18回 厨房設備機器展 2018に出展しました

2018年2月20日(火)~23日(金) 東京ビッグサイト

「おもてなしの最前線がここにある」をテーマに今年も厨房設備機器展が開催されました。当社はグッドデザイン賞を受賞した自動洗浄機付きブラストチラーや、モデルチェンジした製氷機「MIRACLEAR」を展示し新しい厨房の見せ方を提案。また、有名調理師による調理の実演や、HACCP義務化へ向けたセミナーなども行い、大勢の方に来場していただきました。



## セミナー フクシマ 流通セミナーを開催!

毎年大阪・東京・名古屋・福岡の主要四拠点で開催している「フクシマ流通セミナー」。今年で8回目を迎え、たくさんの方にご参加いただきました。



## テレビ東京系列 日曜夕方5時30分より放送中 「知られざるガリバー」に 取り上げられました!

画期的な製品を生み出し業界をリードする会社として紹介されました。

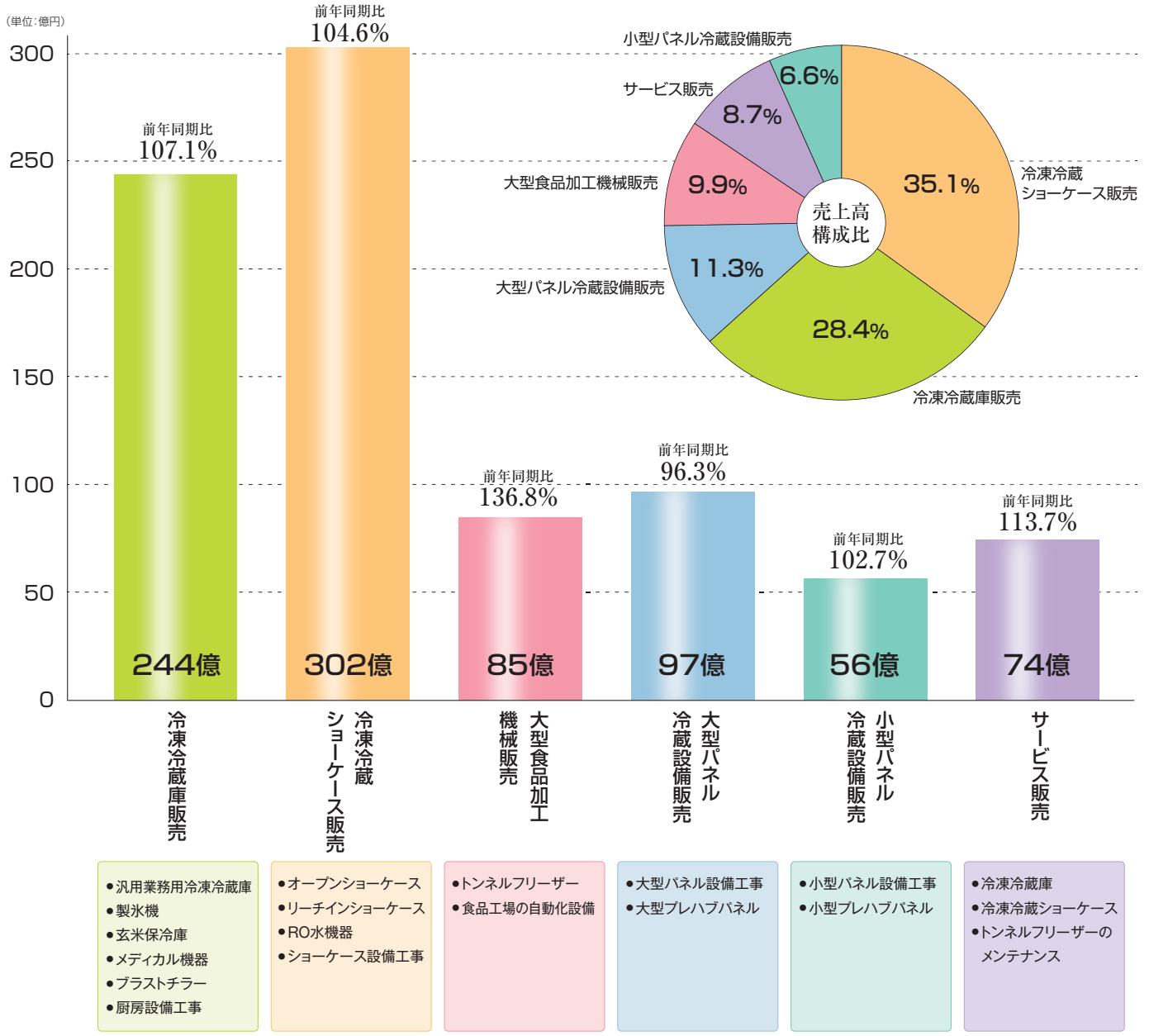


スーパーマーケット  
トレードショーにて



冷却器

# 事業別売上高



# 連結財務諸表



## 連結貸借対照表

(単位:千円)

|                | 前連結会計年度<br>(平成29年3月31日現在) | 当連結会計年度<br>(平成30年3月31日現在) |          |
|----------------|---------------------------|---------------------------|----------|
| <b>資産の部</b>    |                           |                           |          |
| 流動資産           | 53,529,280                | 61,277,089                |          |
| 固定資産           | 20,689,230                | 23,599,301                |          |
| 有形固定資産         | 11,481,811                | 11,965,765                |          |
| 無形固定資産         | 220,170                   | 273,105                   |          |
| 投資その他の資産       | 8,987,248                 | 11,360,430                |          |
| <b>資産合計</b>    | <b>74,218,510</b>         | <b>84,876,391</b>         | ↑Point.1 |
| <b>負債の部</b>    |                           |                           |          |
| 流動負債           | 29,409,810                | 32,701,738                |          |
| 固定負債           | 2,647,794                 | 3,273,544                 |          |
| <b>負債合計</b>    | <b>32,057,605</b>         | <b>35,975,283</b>         |          |
| <b>純資産の部</b>   |                           |                           |          |
| 株主資本           | 38,977,203                | 43,957,968                |          |
| 資本金            | 2,760,192                 | 2,760,192                 |          |
| 資本剰余金          | 3,168,379                 | 3,168,379                 |          |
| 利益剰余金          | 36,260,825                | 41,242,790                |          |
| 自己株式           | △3,212,194                | △3,213,394                |          |
| その他の包括利益累計額    | 3,173,198                 | 4,910,509                 |          |
| その他有価証券評価差額金   | 3,259,400                 | 4,870,266                 |          |
| 為替換算調整勘定       | 68,104                    | 65,057                    |          |
| 退職給付に係る調整累計額   | △154,306                  | △24,814                   |          |
| 非支配株主持分        | 10,503                    | 32,630                    |          |
| <b>純資産合計</b>   | <b>42,160,905</b>         | <b>48,901,107</b>         |          |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>74,218,510</b>         | <b>84,876,391</b>         |          |

### Point.1

現金及び預金が増加したことによる流動資産の77億7千5百万円増加と、投資有価証券が増加したことによる固定資産の29億1千万円増加により、資産合計106億8千5百万円の増加となりました。

### Point.2

食品メーカーを中心に自動化への投資が増加し、冷凍食品やチルド食品の冷却工程で使用されるトンネルフリーザーの需要が増加したことや、その用途が外食産業の調理前加工にまで広がったこと及びコンビニエンスストアの保守契約が増加したことなどから、昨年同時期に比べ59億2千7百万円の増加となりました。

### Point.3

税金等調整前四半期純利益を87億2千1百万円計上し、主に投資活動及び財務活動に資金を使用した結果、前連結会計年度末に比べ65億7千万円増加し、314億8千1百万円となりました。

## 連結損益計算書

(単位:千円)

|                            | 前連結会計年度<br>(平成28年4月1日から<br>平成29年3月31日まで) | 当連結会計年度<br>(平成29年4月1日から<br>平成30年3月31日まで) |          |
|----------------------------|--|--|----------|
| 売上高                        | 80,297,278                               | 86,223,671                               | ↑Point.2 |
| 売上原価                       | 59,565,828                               | 64,630,055                               |          |
| 売上総利益                      | 20,731,449                               | 21,593,615                               |          |
| 販売費及び一般管理費                 | 12,335,754                               | 12,939,149                               |          |
| 営業利益                       | 8,395,694                                | 8,654,466                                |          |
| 営業外収益                      | 437,650                                  | 504,461                                  |          |
| 営業外費用                      | 102,524                                  | 186,984                                  |          |
| 経常利益                       | 8,730,820                                | 8,971,943                                |          |
| 特別利益                       | 5,524                                    | 26,250                                   |          |
| 特別損失                       | —  | 443,148                                  |          |
| 税金等調整前当期純利益                | 8,736,344                                | 8,555,044                                |          |
| 法人税等合計                     | 2,716,595                                | 2,872,879                                |          |
| 当期純利益                      | 6,019,749                                | 5,682,165                                |          |
| 非支配株主に帰属する<br>当期純利益又は当期純損失 | 6,169                                    | △1,093                                   |          |
| 親会社株主に帰属する当期純利益            | 6,013,580                                | 5,683,259                                |          |

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

|                      | 前連結会計年度<br>(平成28年4月1日から<br>平成29年3月31日まで) | 当連結会計年度<br>(平成29年4月1日から<br>平成30年3月31日まで) |          |
|----------------------|--|--|----------|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー | 6,419,729                                | 8,320,943                                |          |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー | △720,200                                 | △668,760                                 |          |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー | △1,087,175                               | △1,006,334                               |          |
| 現金及び<br>現金同等物に係る換算差額 | △83,109                                  | △75,176                                  |          |
| 現金及び<br>現金同等物の増減額    | 4,529,243                                | 6,570,671                                |          |
| 現金及び<br>現金同等物の期首残高   | 20,381,498                               | 24,910,742                               |          |
| 現金及び<br>現金同等物の期末残高   | 24,910,742                               | 31,481,413                               | ↑Point.3 |

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## Information

### 会社概要

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 商号   | 福島工業株式会社                             |
| 本社   | 〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島3-16-11       |
| 設立   | 昭和26年12月8日                           |
| 資本金  | 27億6千万円                              |
| 従業員数 | 連結:1,834名 単体:1,392名(準社員除く) 2018年3月現在 |

### ネットワーク

|            |  |
|------------|--|
| 支社         | 東日本(東京)、中部(名古屋)、西日本(福岡)  |
| 支店         | 北海道(札幌)、東北(仙台)、北関東(さいたま)、東関東(千葉)、横浜、信越(新潟)、静甲(静岡)、北陸(金沢)、関西(大阪)、京都、南大阪、神戸、岡山、広島、四国(高松)、東九州(大分)、西南九州(長崎)、沖縄   |
| 営業所        | 旭川、函館、帯広、青森、盛岡、秋田、郡山、山形、水沢、宇都宮、高崎、水戸、つくば、船橋、西東京、長野、松本、甲府、沼津、浜松、豊橋、三重、岐阜、富山、福井、滋賀、福知山、奈良、和歌山、西宮、姫路、鳥取、松江、福山、山口、徳島、松山、高知、北九州、久留米、佐賀、宮崎、延岡、都城、佐世保、熊本、鹿児島、石垣、宮古島 |
| サービスセンター   | 関東(西船橋)、関西(大阪)   |
| サービスステーション | 釧路、南東京、厚木  |
| 工場         | 滋賀(水口)、岡山  |
| グループ会社     | 国内:高橋工業株式会社、フクシマトレーディング株式会社、FSP株式会社、株式会社省研<br>海外:香港、台湾、シンガポール、上海、マレーシア、北京、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピン、カンボジア、ミャンマー<br>海外工場:北京合弁工場、タイ工場                               |

### 役員

|         |       |     |       |
|---------|-------|-----|-------|
| 代表取締役社長 | 福島 裕  | 取締役 | 藤川 隆夫 |
| 取締役副社長  | 福島 亮  | 取締役 | 吉年 慶一 |
| 専務取締役   | 福島 豪  | 監査役 | 竹内 博史 |
| 常務取締役   | 片山 充  | 監査役 | 濱 政夫  |
| 常務取締役   | 長尾 健二 | 監査役 | 西井 弘明 |
| 取締役     | 水谷 浩三 |     |       |
| 取締役     | 日野 達雄 |     |       |

### 株式のご案内

|                              |  |
|------------------------------|--|
| 決算日                          | 3月31日  |
| 定時株主総会                       | 毎年6月下旬に開催  |
| 配当金受領<br>株主確定日               | 3月31日<br>なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日  |
| 上場取引所                        | 東京証券取引所 市場第一部  |
| 公告掲載方法                       | 当社の公告はホームページ<br><a href="http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html">http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html</a><br>に掲載いたします。 |
| 株主名簿管理人および<br>特別口座管理機関       | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社  |
| 株主名簿管理<br>事務取扱場所<br>(郵便物送付先) | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部   |
| (電話照会先)                      | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部<br>0120-782-031  |

最新情報、サポート情報、デジタルカタログ等、様々なコンテンツが充実。

福島工業のホームページを、ぜひご覧ください！

<http://www.fukusima.co.jp/>

